令和元年度
第1回大船渡市立図書館協議会

日　時　　令和元年 5 月 30 日(木)
　　午前 10 時 00 分
場　所　　大船渡市民文化会館　会議室

大船渡市立図書館

次　　第

１　開　　会

２　会長挨拶

３　館長挨拶及び職員紹介

４　報　　告

報告第１号　平成 30 年度図書館事業の実施状況及び利用状況について

報告第２号　平成 30 年度図書館資料購入（所蔵）状況について

報告第３号　令和元年度図書館事業計画について

５　協　　議

協議第１号　令和元年度図書館資料購入計画（案）について

６　そ　の　他

７　閉　　会

令和元年度　大船渡市立図書館協議会委員名簿

（任期：平成 30 年４月１日～令和２年３月 31 日）

役職名	氏名	任命区分
会長	上関（かみせき）　み　さ	社会教育
副会長	藤村（ふじむら）　敏夫（としお）	学校教育
委員	今野（こんの）　隆弘（たかひろ）	学識経験
委員	江刺（えさし）　由紀子（ゆきこ）	家庭教育
委員	山崎（やまざき）　友子（ともこ）	家庭教育
委員	川村（かわむら）　俊彦（としひこ）	学校教育

報告第１号

平成 30 年度図書館事業の実施状況及び利用状況について

１　図書館運営事業

図書館情報の提供	
実施状況	○図書館だよりの発行 小学生版／夏号（7 月 13 日発行）、冬号（12 月 10 日発行） 中学・高校生版／夏号（7 月 13 日発行）、冬号（12 月 10 日発行） ○市広報による情報提供 定　　期／新着図書紹介（「読んで未来」）、移動図書館車運行予定を掲載 随　　時／各種行事（「こどもの読書週間」「読書週間」「岩手の読書週間」及び関連図書展、「読書感想文コンクール」、「おたのしみ親子劇場」「市民講座」「読み聞かせ講座」　等）の情報を掲載 ○市ホームページへの掲載 随　　時／各種行事等の情報を随時掲載 ○報道機関への情報提供、ポスターの掲示 随　　時／各種行事などの情報を随時提供 ○市民文化会館自主事業での広報 随　　時／図書館事業及び利用案内のチラシ配布
成果及び課題等	上記事業により、一定の情報提供が図られた。
図書館協議会	
実施状況	○第 1 回大船渡市立図書館協議会 期　　日／6 月 7 日 場　　所／大船渡市民文化会館（リアスホール）会議室 内　　容／報告　平成 29 年度図書館事業の実施状況及び利用状況、平成 29 年度図書館資料購入（所蔵）状況、平成 30 年度図書館事業計画 協議　平成 30 年度図書館資料購入計画 出席委員／6 名 ○第 2 回大船渡市立図書館協議会 期　　日／11 月 16 日 場　　所／大船渡市民文化会館（リアスホール）展示ギャラリー 内　　容／報告　平成 30 年度図書館事業の実施状況及び利用状況、平成 30 年度図書館資料購入（所蔵）状況 協議　平成 31 年度図書館事業計画、平成 31 年度図書館資料購入計画 出席委員／6 名
成果及び課題等	委員の視点による意見・提言により、運営課題の把握等につながった。
他館との連携	
実施状況	○ネットワークの活用（情報交換等） 内 容 等／岩手県立図書館、県内市町村立図書館、岩手県図書館協会、岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会及び県外公立図書館等との情報交

	換等 ・「(公社) 日本図書館協会公共図書館調査及び岩手県図書館・公民館図書室等実態調査」への対応 ・岩手県立図書館県内公共図書館訪問事業による運営支援（7 月 6 日、2 名来館） ・岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会 （2 月 22 日、岩手県立図書館、出席者 1 名） ・岩手県立図書館等調査研究事業への参加 「高齢者におすすめする資料（図書等）リスト」の作成 ・各種研修等の資料提供　　外
成果及び課題等	他館との交流により、情報共有を図ることができた。
児童・生徒等の職場体験等の受入	
実施状況	○小学生生活科校外学習等の受入 綾里小学校 2 年生（6 月 18 日、20 名） 大船渡小学校 2 年生（6 月 29 日、31 名） 越喜来小学校 1、2 年生（9 月 14 日、23 名） 吉浜小学校 1、2 年生（9 月 28 日、17 名） 日頃市小学校 2 年生（10 月 3 日、13 名） 盛小学校 2 年生（10 月 31 日、15 名） 立根小学校 2 年生（11 月 14 日、31 名） 大船渡北小学校 2 年生（11 月 15 日、20 名） 猪川小学校 2 年生（11 月 16 日、51 名） ○中学校職場体験学習の受入 日頃市中学校 2 年生（8 月 29、30 日、1 名） 第一中学校 2 年生（8 月 29、30 日、2 名） 越喜来中学校 2 年生（9 月 5 日、2 名） 赤崎中学校 2 年生（9 月 5 日、1 名） ○高等学校職場体験学習の受入 大船渡東高等学校 2 年生（10 月 3、4 日、2 名） ○いちのせき若者サポートステーション職場体験の受入（12 月 14 日、4 名）
成果及び課題等	児童、生徒が市立図書館を見学、職場体験等をすることで、本と図書館のサービスに触れる機会を提供できた。 受け入れにあたって効果的な体制等の検討に努める必要がある。
職員等研修	
実施状況	○平成 30 年度岩手県図書館協会総会（主催：岩手県図書館協会） （4 月 26 日、岩手県立図書館、出席者 1 名） ○平成 30 年度子どもの読書活動推進会議（主催：沿岸南部教育事務所） （5 月 9 日、大船渡地区合同庁舎、出席者 1 名） ○平成 30 年度図書館等中堅職員研修会（主催：岩手県図書館協会） （7 月 19 日、岩手県立図書館、出席者 1 名） ○平成 30 年度中・高等学校図書館担当者等研修会（主催：沿岸南部教育事務所） （7 月 31 日、陸前高田市立高田第一中学校、受講者 2 名） ○平成 30 年度子どもの読書活動推進事業　中･高等学校図書館担当者等研修会 （主催：岩手県教育委員会）（7 月 31 日、高田第一中学校、出席者 2 名） ○平成 30 年度読書ボランティア研修会 （主催：岩手県教育委員会）（8 月 22 日、三陸公民館、出席者 2 名）

	○平成 30 年度市長村立図書館等職員専門研修会（主催：岩手県図書館） （9 月 7 日、岩手県立総合教育センター、受講者 1 名） ○平成 30 年度北日本図書館連盟研究協議会（主催：北日本図書館連盟） （10 月 4、5 日、福島県立図書館） ○平成 30 年度広報スキルアップ研修講座（主催：岩手県教育委員会） （10 月 15 日、岩手県立生涯学習推進センター、出席者 1 名） ○平成 30 年度図書館職員･図書館協議会（主催：岩手県教育委員会） （10 月 26 日、岩手県立生涯学習推進センター、出席者 3 名） ○臨時職員等対象職場内研修 ・図書館員としての法規、倫理等基本的事項 （4 月 1 日、事務室、受講者 4 名） ・図書館利用者に対する接遇応対 （4 月 1 日、事務室、受講者 4 名） ・図書館の業務と専門サービス一般 （日本十進分類、著作権、レファレンス、システム操作、書誌の登録、配架、書架整理、装備及び補修、移動図書館業務　外） （4 月 1～3 日を中心に随時、図書館内、受講者 4 名）
成果及び課題等	研修・会議等での情報提供を通じた先進事例等の把握がなされた。 研修の質等を把握したうえで、効果的な受講に努める必要がある。
学校図書館との連携	
実施状況	○大船渡地区学校図書館協議会総会 期　　日／6 月 20 日 場　　所／大船渡北小学校 内　　容／市内学校図書館担当者への市立図書館業務の概要説明、情報の共有。 ○読書感想文コンクールの共催 内 容 等／後述の「読書感想文コンクール」のとおり ○調べ学習有償サイトの活用 期　　日／通年 内　　容／小中学校向けの有償データベースサイト「ポプラディアネット」のライセンス（使用権）を各校に付与。 ○移動図書館車の巡回 内 容 等／後述の移動図書館車の巡回のとおり
成果及び課題等	学校図書館担当者に図書館情報を提供するとともに、相互に補完しあうことで一定の読書活動の推進が図られた。 変化が進む学校図書館の状況把握に努める必要がある。
設備等の整備	
実施状況	○車両維持管理 内　　容／公用車日常点検の確実な実施（通年） 移動図書館車車両外面の修繕（8 月） 車検の実施（移動図書館車、11 月） 12 ヶ月点検の実施（移動図書館連絡車、8 月） 移動図書館車車両バッテリー交換（12 月） 移動図書館車車両書架外修繕（3 月）
成果及び課題等	日常点検を徹底し、経年劣化が目立つ移動図書館車の維持管理に努めた。 車両の更新や車椅子昇降機の修繕等に課題がある。

施設の維持管理	
実施状況	○各種施設維持業務の委託 内 容 等／市民文化会館と連携し、清掃、施設管理等 15 業務を委託。 ○施設の修繕対応 内　　容／灯油ヒートポンプエアコン修繕（4 月） 外構修繕（6 月） 非常照明及び誘導灯予備電池交換業務（3 月） 防火シャッター危害防止装置用電池交換及び防火扉修繕（3 月） スプリンクラー設備性能試験バルブ交換（3 月） ※修繕料は市民文化会館と按分。
成果及び課題等	各種施設維持管理業務を専門業者に委託することにより、効率的な施設運営が実施できた。また、施設、設備の不具合等に対応し、施設の維持が図られた。 施設本体の経年劣化がみられ、市民文化会館とともに改修に係る長期計画を展望する必要がある。
移動図書館車（かもしか号）の巡回サービス	
実施状況	期　　日／通年 場　　所／市内 69 ステーション 利用実績等／後述の図書館資料の貸出のとおり
成果及び課題等	学校、福祉施設、公営住宅等を定期的に巡回することで、図書館に来られない方へのサービス提供に努めている。 車両の更新や車椅子昇降機の修繕等に課題がある。

2　読書推進事業

乳幼児，児童（小学生）対象読書推進	
実施状況	○読み聞かせ会「おはなしパレード」 期　　日／第 2、4 土曜日、計 23 回 場　　所／図書館おはなし室 対　　象／幼児や小学校低学年の児童とその保護者等 参 加 者／子ども 172 名、大人 143 名　合計 315 名 内　　容／協力読書サークル（読書ボランティア）による絵本の読み聞かせや紙芝居等の実演 ○ブックスタート事業 期　　日／隔月 1 回、計 6 回 場　　所／大船渡市保健介護センター 内　　容／7～8 ヶ月児健康相談時に絵本 188 セットを配付(参加者 383 名) ○「ビューンとよく飛ぶ　紙ひこうきをつくろう！」 期　　日／8 月 5 日（日） 場　　所／図書館児童室、市民文化会館　和室及び芝生 対　　象／5 歳以上の児童とその保護者等 参 加 者／子ども 9 名、大人 8 名　合計 17 名 内　　容／飛行機をテーマにしたブックトークの実施。蔵書をテキストとし、紙飛行機を作成し、実際に飛ばしてみる。 ○「夜の図書館おはなし会」

	期　　日／8 月 11 日（土） 場　　所／図書館児童室 対　　象／小学生以上 参 加 者／子ども 38 名、大人 21 名　合計 59 名 内　　容／ストーリーテリング、新聞紙など道具を使用したお話、手遊び、絵本の読み聞かせ等を行った。 ○「わらべうたであそぼう！」 期　　日／11 月 3 日（土） 場　　所／市民文化会館　和室 対　　象／0 から 3 歳程度の子どもとその保護者、4 歳から小学生とその保護者 参 加 者／子ども 6 名、大人 7 名　合計 13 名 内　　容／赤ちゃんとその保護者を対象に、わらべ唄あそびと絵本の読み聞かせを中心にしたおはなし会を実施した。 ○劇団黒猫舎公演「宮沢賢治童話館」 期　　日／11 月 23 日（金） 場　　所／市民文化会館　マルチスペース 対　　象／幼児、小学生、一般 参 加 者／子ども 6 名、大人 7 名　合計 13 名 内　　容／宮沢賢治の作品や世界観を歌や朗読で表現し、併せて宮沢賢治の関連図書展を実施した。 ○おたのしみ親子劇場 期　　日／12 月 2 日（日） 場　　所／市民文化会館　マルチスペース、展示ギャラリー 対　　象／子どもやその保護者を中心とした市民 参 加 者／子ども 119 人、大人 96 人、計 215 人 内　　容／市内読書ボランティアと人形劇グループによる公演。午前・午後の 2 回開催。
成果及び課題等	参加者からは好意的な声が多く、読書推進、図書館利用の促進に貢献している。 より多くの方に参加してもらうために広報宣伝を強化する必要がある。
生徒（ヤングアダルト）対象読書推進	
実施状況	○ヤングアダルト（青少年向け図書）コーナーの活用 ○クラスの団体貸出や生徒からのリクエストにも対応 中学生の貸出状況　個人貸出　364 名（館内 364 名、移動図書館車 0 名） 2,189 冊　（館内 2,189 冊、移動図書館車 0 冊） 団体貸出　2,857 冊 高校生の貸出状況　個人貸出　273 名（館内 273 名、移動図書館車 0 名） 1,187 冊　（館内 1,187 冊、移動図書館車 0 冊） 団体貸出　0 冊
成果及び課題等	専用コーナーへの集中配置により、一定の利用があり読書環境の保障を果たしている。 全利用者における中高生の割合が低く、中高生に魅力的なコンテンツの提供が求められる。
図書館講座（市民講座）	
実施状況	中央公民館、博物館と連携し、各館で専門性を活かした講師を招聘し実施 ○「一握の砂」を示しし人 啄木ソムリエ　山本玲子　氏 （11 月 27 日、カメリアホール、受講者 58 名）

	○「宮沢賢治と海」 　宮沢賢治記念館学芸員　牛崎敏哉　氏 （12 月 4 日、カメリアホール、受講者 50 名）
成果及び課題等	関心の高いテーマを、優れた講師が解説することにより、学習機会を提供することができ、学習意欲の醸成や市民文化の向上が図られた。
読書運動推進講座	
実施状況	○「夜の図書館 de 読書会」 期　日／11 月 24 日（土） 場　所／図書館児童室 対　象／中学生以上 参加者／10 名 内　容／参加者から事前におすすめの本を推薦してもらい、紹介し合うことで本を通じた交流を実施することが出来た。 ○「楽しく、おうちで読み聞かせ！」講座 期　日／2 月 14 日（木） 場　所／市民文化会館　会議室 対　象／子ども(乳幼児)に読み聞かせをしたい保護者、読み聞かせに興味のある人 内　容／NPO 法人おはなしころりん理事長　江刺由紀子氏を講師に迎え、乳幼児をはじめとした子どもへの読みと読書の楽しさを解説した講演。参加型のワークショップを実施。 参加者／2 名 その他／託児を実施
成果及び課題等	図書館をあまり利用していない人の受講も多く、ニーズを把握する機会となった。継続的な実施が必要となる。
読書感想文コンクール	
実施状況	○第 51 回大船渡市読書感想文コンクール（大船渡地区学校図書館協議会と共催） 募集期間／8 月 6 日（月）～9 月 30 日（日） 対　象／市内に在住、在勤、在学する方（小学生以上） 応募数／小学校低学年の部 20 編、小学校中学年の部 25 編、小学校高学年の部 22 編、中学校の部 29 編、高等学校の部 10 編、一般の部 1 編 計 107 編 入　賞／小学校低学年の部 5 名、中学年の部 6 名、高学年の部 6 名、中学校の部 5 名、高等学校の部 3 名、一般の部 1 名　計 26 名 内　容／審査会　第 1 回：11 月 19 日、第 2 回：11 月 26 日 表彰式　12 月 14 日（市民文化会館マルチスペース） 入賞作品集の発行（入賞者、市内小中学校、県内図書館等に配布）
成果及び課題等	コンクールの開催により、市内の児童生徒をはじめとした市民の読書意欲の醸成に寄与した。 学校の負担が大きいとの意見もあることから、今後、コンクールのあり方について、学校図書館協議会等と検討を深める必要がある。
読書ボランティア等の育成・支援	
実施状況	○研修機会の提供 ○第 1 回協力読書サークル等連絡会議 期　日／3 月 13 日 場　所／市民文化会館（リアスホール）　事務室　応接

	出席者数／3名（3団体） ○ボランティア活動保険 内　容／図書館事業に参加する協力読書サークルのうち希望する団体について保険に加入　5名（2団体） ○独自事業への後援・協力等 内　容／読書ボランティア事業の後援　2件 読書ボランティア事業の広報宣伝協力（館内でのチラシ配布等）
成果及び課題等	読書ボランティアの活動を支援することにより、活動周知等が図られた。 活動内容を把握し、より効果的な支援の検討に努める必要がある。
図書館資料の展示	
実施状況	○「いわ100・いわ100きっずー小学生・中高生のためのおすすめ図書－展 （4月29日～6月20日、196冊、「こどもの読書週間」連携） ○「おとうさん・パパ・とうちゃんの本」展（6月4日～6月25日、46冊） ○　県内図書館連携企画展「あなたの歯、大丈夫？」（6月4日～6月30日） ○　男女共同参画関連図書展（6月11日～6月27日、93冊　大船渡市男女共同参画施策連携） ○　連携企画展「文豪　谷崎　順一郎　図書展」（6月22日～7月23日、23冊） ○「夏を元気に過ごす！図書展」（7月7日～8月31日） ○「課題図書の展示」（7月16日～9月30日、98冊） ○「平和を考える図書展」（8月4日～8月26日、42冊） ○　図書展「若者には わかるまい　～心を豊かにする読書Life～」（9月14日～10月15日、52冊） ○「ゴミについて考えよう！―３Ｒ（「リユース・リデュース・リサイクル」と温暖化―」（9月23日～10月19日、40冊） ○　下水道事業所連携図書展「きれいな水で明るい未来」（10月1日～10月14日、28冊） ○「秋 みつけた！」図書展（10月6日～11月25日、28冊） ○　図書展「統計ってなんだろう」（10月17日～11月14日、26冊） ○「本で出あう 音楽の世界　―大船渡市民文化会館開館10周年―」（10月18日～1月14日、58冊） ○　図書展「たんじょうびおめでとう！―リアスホール 開館10周年―」（11月18日～1月14日、81冊） ○　連携企画展「見つけよう！介護のヒント」（11月30日～12月22日、61冊） ○「クリスマス図書展」 （12月12日～12月24日、クリスマスにちなんだ図書56冊の展示・貸出） ○「私のおすすめはこの本です！　― 夜の図書館de読書会より―」（12月27日～1月14日、61冊） ○　ミニ展示「サポステJOB体験参加者が選んだ本」（12月27日～1月30日、5冊） ○　図書展「2019　若い人に贈る読書のすすめ」（1月19日～2月17日、24冊）
成果及び課題等	時宜にかなった企画図書展を開催することで、読書に対する図書館利用者の関心の高まりとともに、報道等を通し図書館の利用促進が図られた。 市各部局との連携を高めるなど、住民生活に密着した取組の強化に努める必要がある。

3　図書館資料収集・整理・保存事業

図書館資料の収集	
実施状況	○図書館資料の受入 購入冊数　3,304 冊 寄贈冊数　301 冊 献本冊数　37 冊 合計冊数　3,642 冊 ○図書館資料の選考 内　容／　利用者からのリクエスト等から傾向を踏まえるとともに、出版情報を注視し、見計らい等を活用のうえ、良書を重視した選書を実施した。 10 月から選書会議を実施し、多数の職員が選書に関わるとともに、発注の頻度を多くした。
成果及び課題等	利用者の読書傾向や分類ごとのバランスを配慮するとともに、郷土資料の収集を念頭に資料の充実を図った。また、東日本大震災に係る書籍や関連資料の収集に努めた。 利用者ニーズの把握など、不断の情報収集に努める必要がある。
図書館資料の整理・保存	
実施状況	○書架等の整理 期　日／随時 内　容／新着資料の配架及びそれに伴う既存資料の移動・整理。 利用者の利便性の向上と良好な利用環境を提供するため、館内掲示等による利用案内や季節感のある館内装飾を実施。 ○未登録図書の登録 期　間／随時 ○逐次刊行物の保管 内　容／新聞等、逐次発行される刊行物の保管と管理。 ○資料の除籍 点数等／1,528 点 対　象／資料の劣化、破損、保存年限（2 年）が経過した雑誌 ○蔵書点検 期　間／2 月 19 日～2 月 26 日 内　容／期間中、臨時休館し、所蔵資料の配架状況等の点検と整理を実施。
成果及び課題等	未登録図書の整理や蔵書管理により、所蔵資料の把握と効率的な配架に努めた。

4　図書館サービス・貸出事業

図書館資料の貸出	
実施状況	○年間開館日数　302日（休館日：火曜日、年末年始） ○館内貸出（図書資料：1人10冊以内で2週間、視聴覚資料：1人1点で2週間） 登録者数　／個人15,058名、団体　238団体 うち、新規登録分　／566名（団体）　※個人・団体計 貸出者数　／個人　22,012名、団体　344団体 貸出冊数　／個人　106,339点、団体1,585点　合計107,924点 ○移動図書館車（1人10冊以内で1ヶ月間まで） 登録者数　／個人　787名、団体　210団体 うち、新規登録分　／16名（団体）　※個人・団体計 貸出者数　／個人　720名、団体　1,249団体 貸出冊数　／個人　3,695点、団体　22,603点　合計26,298点
成果及び課題等	図書館資料の貸出しを通して利用者に対する情報提供が図られた。 利用者数、利用点数ともに減少傾向が続いていることから、新着図書の紹介や企画展示、読書推進の取組み等により利用増に努める必要がある。
体の不自由な人への図書館サービス	
実施状況	○移動図書館車でのサービス 内　容／福祉施設等への定期巡回（月1回） ○大活字本コーナーの充実 内　容／大活字本の新規購入・配架　※　所蔵点数　2,073点
成果及び課題等	移動図書館車を活用し、高齢者等の読書活動の促進が図られた。 引き続きニーズの把握に努める必要がある。
各種図書館サービス	
実施状況	○各種市民ニーズへの対応 内 容 等／リクエストサービス(予約1,423件うち 借用254件、購入112件) レファレンスサービス(約1,200件) 複写サービス（355件、2,036枚） インターネット予約(登録245名（うち新規21名）） ○他館とのネットワーク 内 容 等／相互貸借(貸出162件、借受254件、合計416件)
成果及び課題等	リクエスト等により、利用者ニーズの把握を行った。 サービスの周知を図る必要がある。 ふた付飲み物の持ち込みを可能としたほか、クッションの貸出しを開始した。
インターネット情報検索用パソコンの供用及び無線LANサービス等の提供	
実施状況	○インターネット情報検索用パソコンの供用 利用時間／開館時に常時供用 設置場所／図書館閲覧室(パソコン5台) 利用件数／825件

	○無線 LAN サービス等持ち込みパソコン 利用場所／無線 LAN 接続ブース 利用件数／無線 LAN 使用 18 名
成果及び課題等	インターネット環境を持たない利用者に対し、情報検索等のサービスを提供することができた。また、図書館でパソコンを使用したい利用者に対し、一定のサービスを提供できた。 利用が減少傾向にあり、より使いやすい環境の提供について検討する必要がある。
図書館情報システムの活用	
実施状況	○図書館情報システム活用 内 容 等／貸出、資料検索、予約等の窓口業務や蔵書管理に図書館情報システムを活用。 ○図書館情報システムの保守 期　　日／随時 内　　容／システムを健全に維持するためのレベルアップ　外。
成果及び課題等	情報システムの活用により、図書館業務の効率化とサービスの向上が図られた。

報告第2号

平成30年度図書館資料購入（所蔵）状況について

平成30年度　図書館資料購入(所蔵)状況

	分類等	図書資料														消耗品
		図書資料													視聴覚	雑誌
		0. 総記	1.哲学	2. 歴史	3. 社会	4. 自然	5. 技術	6. 産業	7. 芸術	8. 言語	9. 文学	K. .郷土	J.. 児童書	小　計	うち大活字		
29 年 度 実　績	所蔵数 ①	2,711冊	3,323冊	7,472冊	10,236冊	5,544冊	6,722冊	3,054冊	9,154冊	1,695冊	39,548冊	14,076冊	47,213冊	150,748冊	−	569点	−
	所蔵割合	1.80%	2.20%	4.96%	6.79%	3.68%	4.46%	2.03%	6.07%	1.12%	26.23%	9.34%	31.32%	100.00%	−	−	−
30 年 度 計　画	計画額	120千円	120千円	300千円	600千円	400千円	420千円	220千円	300千円	120千円	1,200千円	400千円	1,800千円	6,000千円	350千円	250千円	−
	計画数	60冊	60冊	150冊	300冊	200冊	210冊	110冊	150冊	60冊	600冊	200冊	900冊	3,000冊	100冊	50点	−
30年度 実　績	支出額　A	197,889円	161,807円	468,496円	595,385円	464,190円	483,633円	220,334円	538,088円	60,286円	1,194,253円	186,513円	1,679,362円	6,250,236円	143,316円	0円	581,743円
	購入数 ②	82冊	94冊	165冊	306冊	209冊	290冊	101冊	278冊	32冊	740冊	72冊	935冊	3,304冊	46冊	0点	758冊
	(分類別単価) A÷②	2,413円	1,721円	2,839円	1,946円	2,221円	1,668円	2,182円	1,936円	1,884円	1,614円	2,590円	1,796円	1,892円	3,116円	0円	−
	購入割合	2.48%	2.85%	4.99%	9.26%	6.33%	8.78%	3.06%	8.41%	0.97%	22.40%	2.18%	28.30%	100.00%	1.39%	−	−
	(寄贈等) ③	5冊	4冊	10冊	6冊	1冊	1冊	0冊	54冊	0冊	24冊	141冊	92冊	338冊	0冊	0点	−
	(除　籍) ④	29冊	70冊	357冊	134冊	82冊	135冊	34冊	13冊	1冊	48冊	12冊	613冊	1,528冊	0冊	0点	−
	(分類変更)⑤	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	0冊	−	0点	−
	年度末所蔵数 ①+②+③−④+⑤	2,769冊	3,351冊	7,290冊	10,414冊	5,672冊	6,878冊	3,121冊	9,473冊	1,726冊	40,264冊	14,277冊	47,627冊	152,862冊	−	569点	−
	年度末所蔵割合	1.81%	2.19%	4.77%	6.81%	3.71%	4.50%	2.04%	6.20%	1.13%	26.34%	9.34%	31.16%	100.00%	−	−	−

報告第３号

令和元年度図書館事業計画について

Ⅰ　事業計画

１　図書館運営事業

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
図書館情報の提供	図書館に関する情報(利用方法各種サービス、新着図書、催事等)を広く周知し図書館利用を促進する。	○図書館だよりの発行 〔内容等〕 ･小学校用…年２回(長期休業前)発行 ･中学校用…年２回(長期休業前)発行 ･高校生用…年１回(秋頃)発行 ○市広報による情報提供 〔内容等〕 ･定期…かもしか号巡回予定等 ･随時…各種事業、催事等案内、読書週間周知等 ○市ホームページ等による情報提供 ○図書館蔵書管理システムによる資料情報等の提供(webOPAC 等) ○市民文化会館自主事業でのチラシ等の配布 ○報道機関等の活用
図書館協議会	館長より諮問した事項についての意見･提言等を、図書館運営・事業等へ還元する。	〔委員〕　６名 〔回数〕　年２回
他館等との連携	県立図書館等とのネットワークを活用し、最新情報の入手等、図書館運営の充実を図る。	○ネットワークの活用（情報交換等） ・県内公共図書館等との連携 ・県図書館協会との連携 ・岩手県公共・専門・大学図書館連絡協議会への参画
施設見学･職場体験等の受入	児童・生徒等を受入れ、図書館活動を普及する。	〔時期〕　随時 〔場所〕　館内等 〔内容〕　市立小中学校等からの要請に応じ、見学及び図書館実務の体験を提供する
職員等研修	図書館運営･サービス等に関する研修を行い、利用者サービスの向上に努める。	〔時期〕　随時 〔内容〕　県立図書館、県図書館協会及び県教育委員会等の研修受講とともに、随時職場研修を実施。

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
学校図書館との連携	学校図書館と連携し、相互に補完しあうことで、児童･生徒の読書活動を促進する。	○大船渡地区学校図書館協議会総会等への出席 ○読書感想文コンクールの共催 〔内容〕　後述のとおり ○移動図書館車の巡回 〔内容〕　学校を移動図書館車のステーションに設定し、巡回の際、クラス単位での貸出し、個人貸出しを実施する。 ○調べ学習有償サイトの活用 〔内容〕　小中学生向けの有償データベースサイト閲覧のライセンスを、各校に配付。学校図書館機能の補完を図る。 ○団体貸出しの推進 〔内容〕　学校での読書活動や授業で使用する資料等の提供 ○学校図書館運営への支援 〔内容〕　求めに応じ、助言等を行う。
設備等の整備	館内設備等の管理を行い、利用環境の維持･向上を図る。	○書架等の整理 ○車両維持管理
施設の維持管理	施設設備を適正に保守管理し、利用環境を維持する。	〔時期〕　通年 〔内容〕　清掃、警備、建築設備点検及び植栽管理など、17 業務を委託
移動図書館車(かもしか号)の巡回サービス	移動図書館車を巡回し、遠隔地利用者へのサービスを行い、図書館利用の地域格差の解消と利便を図る。	〔時期〕　通年 〔対象〕　一般市民 〔場所〕　68 ステーション 〔内容〕　各ステーションを毎月 1 回巡回し、図書を貸出し

2　読書推進事業

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
乳幼児、児童(小学生)対象読書推進	早い時期から図書(絵本)に親しむ機会を提供し、読書習慣の形成と図書館利用の促進を図る。	○読み聞かせ会「おはなしパレード」 〔時期〕毎月第 2・4 土曜日 〔対象〕小学生以下の子どもと保護者 〔内容〕協力読書サークルを演者とした絵本等の読み聞かせ会
		○おたのしみ親子劇場 〔時期〕12 月（年 1 回） 〔内容〕大会場での絵本の読み聞かせや人形劇など、親子での鑑賞体験を提供。 〔対象〕小学生以下の子どもと保護者

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
		○ブックスタート事業 〔時期〕隔月実施 〔内容〕7・8 カ月児健康相談でブックスタートパック（絵本等のセット）を配付し、乳児期からの本とのふれあいを提案するとともに図書館利用等についての情報提供を。 〔対象〕乳児（平成 30 年 8 月～令和元年 7 月生まれ）と保護者
ヤングアダルト対象読書推進	発達段階に対応した図書や読書機会を提供し、読書活動の推進と図書館利用を促進する。	○ヤングアダルト（中高生等対象）コーナーの充実 ○クラス単位での団体貸出の実施(中学校) ○図書館だよりの発行（前述図書館情報の提供のとおり）
市民講座	中央公民館･博物館等と連携することで､多様な学習機会を提供し、資質･教養･文化の向上に資する。	○市民講座 〔対象〕一般 〔内容〕研究者（人文科学分野）等の講演等
読書推進･普及講座	住民･利用者のニーズを踏まえ､読み聞かせ等の講座等により､地域の読書振興を図る。	○読み聞かせ等をテーマにした講座の開催
市民文化会館との連携事業	市民文化会館の各種事業と連携することで､地域の芸術･文化の振興、読書運動の推進と図書館利用の促進の相乗効果を図る。	○各種企画展示(自主事業との連動) 〔時期〕随時 ○市民文化会館自主事業への参画 〔内容〕「リアス・ウェーブ・フェスティバル」等での読書推進･図書館利用促進企画 〔時期〕調整中
読書感想文コンクール	市民の読書活動を促進する。	〔時期〕募集期間 8～9 月、表彰式 12 月 〔対象〕小学生(低学年、中学年、高学年)、中学生、高校生、一般の各部門 ※大船渡地区学校図書館協議会と共催
読書ボランティア等の育成･支援	読書ボランティアを育成･支援し、図書館利用の促進を図る。	○読み聞かせボランティア連絡会議の開催 〔回数〕年 2 回(必要に応じ開催) ○読み聞かせボランティアの育成･支援 〔内容〕実演機会･研修機会・諸情報の提供 ○人形劇サークルへの支援 〔内容〕実演機会の提供等

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
図書館資料の展示	多様な図書館資料の展示を行い、所蔵資料の活用、読書活動の普及･奨励と図書館の利用促進を図る。	○企画図書展 〔内容〕収蔵資料、借受資料を活用した企画展。市民文化会館をはじめ、市各部署や県内図書館等との連携や、時節に応じたテーマを設定。 〔時期〕随時

3　図書館資料収集・整理・保存事業

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
図書館資料の収集	市民ニーズに対応し、バランスのよい図書資料の選定や地域資料等の収集を行い、図書館利用を促進する。	○図書資料の収集(購入等) ○郷土資料の収集 ○震災関連資料の収集 ○視聴覚資料の収集 ○ビジネス関連資料の収集 ○大活字本の収集
図書館資料の整理･保存	未整理図書の整理等を行い、利用環境を整備する。	○献本図書の登録 ○除籍図書の整理 ○蔵書点検
	重要資料等の保存を適正に行い、活用に供する。	○新聞等逐次刊行物の保管 ○貴重資料の適正な保管
所蔵資料の適正管理	所蔵資料を適正に管理し、利用に供する。	○破損資料等の修繕(随時) ○延滞資料の返却督促(年 3 回)

4　図書館サービス・貸出事業

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
図書館資料の供用	利用者の読書や調べものニーズに対応し、広範な利用を促す。	○図書館資料の閲覧 ○図書館資料の貸出し ・個人貸出し　　1 人 10 冊以内、2 週間 ・団体貸出し　　1 団体 200 冊以内、1 ヵ月間 ○リクエストサービス ・貸出し中の資料の予約提供 ・未所蔵資料の購入または他館から借り受け(相互貸借)の提供
体の不自由な人への図書館サービス	体の不自由な人へ、合理的な配慮のもと、図書館利用の機会を提供する。	○移動図書館車でのサービス 〔内容〕　移動図書館車の福祉施設等への巡回 ○大活字本コーナーの充実 ○拡大読書器の供用

事 業 名	事業目的	事業内容（時期･場所･対象ほか）
各種図書館サービス	図書館機能を活用し､利用者の求めに応じたサービス･情報を提供する。	○レファレンスサービス 〔内容〕　探しもの、調べものに対する情報提供(お手伝い)サービス ・読書相談への対応 ・資料の探し方のサポート、情報源の紹介(レフェラルサービス) ・児童･生徒の｢調べ学習｣の調べ方指導･助言 ○複写サービス 〔内容〕　著作権法の範囲内での所蔵資料のコピーを提供（有料） ○視聴覚資料の館内閲覧コーナーの供用 〔内容〕　所蔵する視聴覚資料の閲覧(鑑賞)環境の提供 ○課題解決サービスの提供 〔内容〕　利用者のテーマに対する課題解決のサポートサービス ・ビジネス支援サービス　等
他館とのネットワークの活用	独自では難しい事例に対するサービスを県内外の図書館と協力して提供する。	○他館とのネットワーク 〔内容〕　県内公共図書館、北日本図書館連盟加入館との連携 ・相互貸借 ・協力レファレンス　等
インターネット情報検索用パソコンの供用及び無線 LAN（Wi-Fi）サービスの提供	図書館利用者の学習活動･情報収集の支援を図る。	〔時期等〕随時、館内 〔設　備〕インターネット情報検索用パソコン　5台 無線 LAN 接続サービスの供用
図書館蔵書管理システムの活用	図書館蔵書管理システムを活用することで､利用者サービスの並びに図書館資料の貸出及び管理業務の効率化を図る。	○システムを活用したサービスの提供 〔内容〕　館内及び webOPAC での所蔵資料の情報提供。インターネット予約の実施 ○システムによる業務の効率化 〔内容〕　蔵書管理システムによる貸出し・図書検索・貸出し予約、図書資料の適正な管理

協議第１号

令和元年度図書館資料購入計画（案）について

令和元年度　図書館資料購入計画表（案）

	分類等	備品購入費																消耗品費
		図書資料														視聴覚資料	合計	雑誌等
		0. 総記	1.哲学	2. 歴史	3. 社会	4. 自然	5. 技術	6. 産業	7. 芸術	8. 言語	9. 文学	K. .郷土	J.. 児童書	小計	うち大活字			
30年度実績	購入点数	82冊	94冊	165冊	306冊	209冊	290冊	101冊	278冊	32冊	740冊	72冊	935冊	3,304冊	46冊	0点	－	758冊
	購入金額	197,889円	161,807円	468,496円	595,385円	464,190円	483,633円	220,334円	538,088円	60,286円	1,194,253円	186,513円	1,679,362円	6,250,236円	143,316円	0円	6,250,236円	581,743円
	年度末所蔵数	2,769冊	3,351冊	7,290冊	10,414冊	5,672冊	6,878冊	3,121冊	9,473冊	1,726冊	40,264冊	14,277冊	47,627冊	152,862冊	－	569点	－	－
	所蔵割合	1.81%	2.19%	4.77%	6.81%	3.71%	4.50%	2.04%	6.20%	1.13%	26.34%	9.34%	31.16%	100.00%	－	－	－	－
元年度計画	計画額	120千円	120千円	300千円	600千円	400千円	420千円	220千円	300千円	120千円	1,200千円	400千円	1,800千円	6,000千円	（300千円）	250千円	6,250千円	581千円
	計画数	60冊	60冊	150冊	300冊	200冊	210冊	110冊	150冊	60冊	600冊	200冊	900冊	3,000冊	（100冊）	50点	－	792冊

※ 図書資料の単価は，2,000円/冊（大活字本は3,000円/冊），視聴覚資料単価は，5,000円/点で試算。
※ 消耗品費の内訳は、雑誌・新聞等の消耗品扱いの図書館資料。

《留意点》
※ 市立図書館資料収集方針に基づき，蔵書状況や図書の貸出状況等を踏まえながら資料収集を行う。
※ 図書購入に際し，計画に変更が必要な場合は，柔軟に対応するものとする。

参考資料

大船渡市立図書館資料収集方針

図書館法の精神に則り，市民の読書傾向・興味関心をもとに現在の蔵書状況を考慮し，質・量ともバランスのとれた資料の構成を図らなければならない。市民の教養と文化の向上のため，その生活，学習に必要な資料を公平かつ自由に選択収集する。

図書選定基準

1. 各分野の基本的資料（辞典，字典，便覧，白書，年鑑，図鑑，年表統計等）は優先的に収集する。但し，特殊な分野の専門書及び研究書は原則として収集しない。
2. 実用書は，資料的価値を考慮して多面的に収集する。
3. 時事的なものは，社会情勢に対応し積極的に収集する。
4. 内外の著名な作家による文学作品や，各種の賞を受賞したものは積極的に収集する。
5. 行政資料・郷土資料・郷土出版物及び県人の著作は，原則として収集する。又，県人の著作で，共著・共名等の場合でも同様に収集する。
6. 利用頻度が少ないと思われるものでも，資料価値が高く，保存の必要があると思われるものは収集する。
7. 児童図書は，人格形成の観点から情操教育上必要と思われる資料を積極的に収集する。
8. 逐次刊行物は，資料的価値を考慮して収集する。但し，郷土関係逐次刊行物（新聞，雑誌）はつとめて収集する。
9. 新刊書を重視し，各種団体等の選定資料，推薦資料，ベストセラーズ等は，内容を検討の上できるだけ収集する。
10. 教養，レクリエーションに必要な諸資料は，利用の動向などを考慮し収集する。
11. 希望図書はできるだけ収集するようつとめる。

資料選定上の留意事項

資料の選定に当たっては，収集方針に基づき，市民の読書傾向及び出版動向を把握しながら次の事項に留意する。

1. 宣伝や流行に惑わされず，好み，主観を排除すること。
2. できるかぎり新しい資料で，理解しやすいものであること。
3. 信頼しうる資料であること。
4. 異なる立場を持つ資料には，できるかぎり別の立場からの資料をも収集するこ

と。

5. 参考図書は，できるだけ索引・参考文献・年譜等が掲載されている資料を中心に収集すること。
6. 性・法医学・刑事犯罪記録・劇薬・火薬・賭博的娯楽等に関するものは，特に資料的価値を吟味し，慎重に取り扱うこと。
7. 図版の多い資料は，特にその印刷の仕上がりを吟味すること。
8. 造本に留意し，堅牢性を考慮すること。
9. 利用度の高い資料，長く残す資料及び郷土資料等は複本を備えるようにする。
10. 利用者の意向を正しく選択に反映させるようにすること。

視聴覚資料選定基準

1. ビデオ･ＣＤ等で広く市民の教養，文化の向上に資するものは極力収集する。
2. 児童向けのものは，人格形成の観点から，情操教育上必要と思われるものを収集する。
3. 郷土の理解に役立つものは，保存用も含めて収集する。
4. 保存的資料として価値の高いものは，つとめて収集する。

参考資料

大船渡市立図書館資料除籍基準

図書館資料を適切に管理し，常に有効な利用状態にするため除籍を行う。

1. 亡失除籍
   ○ 資料が利用者の事情で亡失し，回収不能となったもの。
   ○ 資料の点検で所在不明が判明し，調査しても不明のもの。

2. 汚損・破損除籍
   ○ 汚損・破損がはなはだしく，修理または製本が出来ないもの。

3. 不要除籍
   ○ 資料の内容が時の経過等につれ，文献的価値・利用価値を失ったもの。
   ○ その他館長が不要と認めるもの。

4. 保管転換除籍
   ○ 資料の有効的活用を図るため，他の市機関に所管がえを行うもの。

5. 譲渡除籍
   ○ 市所管以外の施設に無償で譲渡するもの。

6. 数量更正除籍
   ○ 図書資料で利用上及び管理上，合冊又は分冊にする場合には，いったん除籍するものとする。

令和元年度　大船渡市立図書館職員名簿

平成 31 年 4 月 1 日現在

職　名	氏　名	備　考
館　　長	金　野　優　子	市民文化会館長兼務
館長補佐	水　野　克　恵	市民文化会館館長補佐兼務
係　　長	森　　友　之	市民文化会館担当兼務職員
司　　書	中　井　佳　織	
係　　長	田　代　昌　幸	市民文化会館担当兼務職員
主　　事	熊　谷　尭　之	〃
企画運営員	谷　川　徹　也	〃

※職員はすべて市民文化会館、図書館兼務